

南医療生協星崎診療所総合診療専門医プログラム



南医療生活協同組合

南医療生協星崎診療所総合診療専門医プログラム

プログラム責任者

南医療生活協同組合星崎診療所 所長 神田茂

プログラムの概要

H19年に始まった医療福祉生協連家庭医療学後期研修プログラム東海において東海地方を中心に家庭医を養成してきた。専門医認定制度の日本専門医機構への移行に伴い、東海地方の各地に研修の場が分割され、名古屋市南区の診療所を研修の中心に据えて、信頼されるかかりつけ医養成を目標としたプログラムを新たに設置することになった。

研修目標とアウトカム

研修目標は以下の6項目である。

- (1) EBM や予防医療を重視したよく訓練された臨床能力をもち、地域保健医療活動への参画を重視する視点を身につけ、都市部診療所において、非選択的な外来医療、在宅診療、保健予防活動をバランスよくこなせる総合診療専門医に必要なコンピテンスを獲得すること。
- (2) 指導医・研究者として学習者中心の臨床教育を実施できるようになる。また、臨床疫学、行動科学、地域指向性プライマリケアに関する研究や実践の基礎的能力をもち、地域の健康問題に対して科学的な視点でアプローチできる。
- (3) 生涯学習者として自己決定型学習を実施できる。常にアップ・トゥ・デイトな情報にアプローチでき、EBM を実施しつつ、反省的実践家としての家庭医らしい生涯教育をおこなうことができる。さまざまな地域プロジェクトにかかわり、リーダーシップを発揮することができる。
- (4) 仲間と常に協同で学び、チームの一員としてその責任と役割をはたすことができる。
- (5) 医療生協の理念の展開に寄与するとともに、地域との様々な協同をすすめることができる。
- (6) 健康観・公平・正義などの価値感を涵養し、住民の主体形成への支援的にかかわりができる。

カリキュラムの特徴

1. 診療所を基盤としたカリキュラム

地域に貢献できる総合診療医となる観点から以下の内容を1年の僻地研修期間を除く3年間のプログラムに一貫して実施する。

- 基幹診療所における継続外来診療 (half-day or one-day back)
- レジデント・デイ (1ヶ月の振り返りと Clinical Jazz、ポートフォリオ勉強会)
- レジデント・セミナー (家庭医療のコアとなる領域の集中セミナー 1/M)
- プロジェクト・ワーク (プライマリ・ケアに関する研究を行う)

2. 研修期間を通して診療所活動を継続する

病院でのローテート研修中も診療所を拠点とした活動を継続し、総合診療医のメンターをもつ。

3. 質の高い形成的評価と総括的評価

- ・日本プライマリ・ケア連合学会に準拠した研修目標に医療生協独自の研修目標を勘案した21領域におけるエントリーで構築されたポートフォリオによる総括評価を行う。またこのポートフォリオ作成のモニタリングとサポートを定期的実施する。
- ・総合診療専門医は広範囲の健康問題に関し網羅的な知識を必要とするため、シニア1、2年次終了時点でのMCQ・MEQを中心としたITA (in training assessment) を行う。
- ・レジデンシー修了試験 (CSA, MEQ, Critical Reading) を実施する。

4. メンタリングとサポートシステム

メンタリングはプログラム責任者が行い、南医療生協法人の医師委員会が事業所にまたがる研修の課題について組織的なサポートを行う。

5. 多彩な住民主導型地域包括ケアへの参加

南医療生協は行政主導では進みにくい疾病や介護の予防、ささえあい生活支援、住民発のACPなどに気軽に参加できる法人本部から地域へのルートが整備されている。

6. フェロウシップ

研修修了後、後進の専攻医の指導に関わったり、法人内の診療所 (星崎、たから、桃山、富木島、よってつて) や病院 (南生協病院、かなめ病院) で関心のある領域の研修を追加することができる。

研修期間とローテーションのモデル

	研修先		
一年目	内科		
二年目	小児科	救急科	選択科(整形外科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科など)
三年目	僻地研修		
四年目	総合診療Ⅰ	総合診療Ⅱ	

専攻医週間予定の例

	月	火	水	木	金	土
朝 8 時	朝会(気になる症例の検討、持ち回りでミニ勉強会、水曜は医局会)					
午前	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	
午後	訪問診療	訪問診療	※下記	訪問診療	訪問診療	セミナー (月一回)

※プログラム責任者とのポートフォリオ談話、スタッフとの勉強会、自己学習や研究などの時間

研修施設群

◇家庭医療専門研修施設群

研修領域	期間	研修施設名(病院の場合は診療科)
家庭医療専門研修	6か月	星崎診療所
		かなめ病院

◇必修の領域別研修施設群

研修領域	期間	研修施設名(病院の場合は診療科)
内科	12か月	総合病院 南生協病院
小児科	2か月	総合病院 南生協病院
救急医学	2か月	総合病院 南生協病院救急外来

◇望ましい領域別研修施設群

研修領域	研修施設名(病院の場合は診療科)
一般外科	総合病院 南生協病院外科
産科婦人科	総合病院 南生協病院産婦人科
精神科/心療内科	メンタルクリニックみなみ精神科
整形外科	総合病院 南生協病院
皮膚科	総合病院 南生協病院
泌尿器科	総合病院 南生協病院
眼科	総合病院 南生協病院
耳鼻咽喉科	総合病院 南生協病院
緩和医療科	総合病院 南生協病院
老年科	かなめ病院

研修の評価

- ・日本プライマリー・ケア連合学会に準拠した研修目標に医療生協独自の研修目標を勘案した 21 領域におけるエントリーで構築されたポートフォリオによる総括評価を行う。またこのポートフォリオ作成のモニタリングとサポートを定期的実施する。
- ・総合診療専門医は広範囲の健康問題に関し網羅的な知識を必要とするため、シニア1、2年次終了時点での MCQ・MEQ を中心とした ITA (in training assessment) を行う。
- ・レジデンス修了試験 (CSA、MEQ、Critical Reading) を実施する。

A. プログラムを展開する場や医療施設の地域背景や特長

古くからの住民で健康維持や社会参加に熱心な層と、中小規模の町工場が多く健康意識が十分ではない単身労働者層、倒産した町工場の跡地に新しい家が建ち子供のいる若い家庭が混在した地域を背景に診療が展開されている。

星崎診療所は医療生活協同組合が運営していて、地域住民とのつながりが強く、診療所から地域に出かけて多彩なヘルスプロモーションに関わる機会が多い。

同じ医療生協の近隣介護系事業所は多種に及び、さらに近年は行政や社協、地域包括支援センターなどとの連携も円滑で統合された地域包括ケアが展開しやすい特徴がある。

B. プログラムの理念、全体的な研修目標

本プログラムでは、住み慣れた地域で疾患や障がいを抱えながらも最期まで安心して暮らし続けることができるように住民を支えることができる、かかりつけ医を育成することを目指す。

したがって、医学的な知識や技能を磨くことにとどまらず、地域の多職種、住民と良好なコミュニケーションをとり、解決の難しい問題に対しても皆が納得できる着地点に導くことができるような人間性も育むことを目標にする。

採用方法

専攻医登録システムにて公募、下記の応募書類を提出する。

専門研修プログラム管理委員会で書類選考、面接を実施する。

専門研修プログラム管理委員会で協議・採否を決定し、本人へ文書で通知する。

応募書類

- ① 研修申込書(研修プログラムの志望動機を記載して下さい。A4 1枚)
- ② 履歴書
- ③ 医師免許証・保険医登録証(写)
- ④ 臨床研修修了の証明書(見込書)

待遇

身分:法人の常勤医師とする。

勤務・休暇:研修施設の常勤医師の服務規程に準ずる。

給与月額:研修実施法人の規定による。配属教育指定診療所(法人)によって多少の差異が生じます。

諸手当・賞与:配属教育指定診療所(法人)毎の規定に準じる。

社会保険:教育指定診療所(法人)の職員に準じる。

医師賠償保険:法人で加入する。

プログラム修了後の進路:希望があれば、南医療生協の病院や診療所の常勤医として勤務継続、あるいは全国の医療生協への就職を斡旋することができる。

連絡先

南医療生活協同組合 総合病院 南生協病院 医局事務局

所在地 〒459-8016 名古屋市緑区南大高二丁目 204 番地

E-mail ikyoku-jimukyoku2@minami.or.jp

TEL 052-625-0373/ FAX052-625-0534